

子どもの本がつなぐスマイルプロジェクト
親子ふれあい読書フェスティバル

絵本はともだち

かがく や ちしき の 絵本



福島県立図書館

!!!! ? ? ? ? ?

科学や知識の絵本を子どもたちに

～なぜ や どうしてを大切に～

子どもたちの

小さな なぜ や どうしての

芽を

大きく育てるために

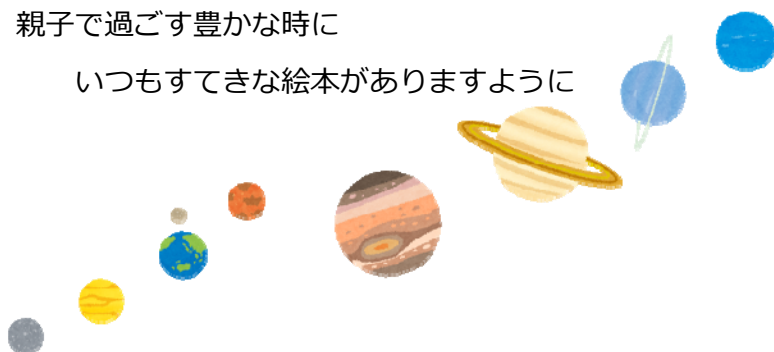
科学や知識の絵本を





親子で楽しんでください

親子で過ごす豊かな時に

いつもすてきな絵本がありますように

このリストに載せた絵本以外にも科学や知識の絵本が
たくさんあります。ぜひ、図書館でご相談ください。



-  幼児から楽しむ科学や知識の絵本を掲載しました。
-  絵本は、テーマごとに紹介しています。
-  巻末に「中学年以上でも楽しめる 科学や知識の絵本」を掲載しました。
-  現在購入可能な本は、出版年の後ろにISBNを入れました。

【凡 例】

<div data-bbox="86 805 190 833" data-label="Text"> <p>表紙写真</p> </div> <div data-bbox="190 1062 324 1088" data-label="Text"> <p>当館請求記号</p> </div>	<div data-bbox="328 778 387 809" data-label="Text"> <p>書名</p> </div> <div data-bbox="945 774 987 826" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="654 828 986 852" data-label="Text"> <p>著者名 出版社名 出版年 ISBN</p> </div>
	<div data-bbox="621 965 692 991" data-label="Text"> <p>紹介文</p> </div>



マークは読んでもらえば幼児から楽しめる本です。



マークは自分で読むなら小学校中学年からの本です。



P/ジジ

わゴムはどのくらいのびるかしら？ 改訂新版

マイク・サーラー/文 ジェリー・ジョイナー/絵 岸田衿子/訳 ほるぷ出版 2000 978-4-593-50402-2



わゴムのはしをベッドのわくにひっかけてどんどん伸ばします、自転車で走って、バスや飛行機にも乗り継いで、わゴムを伸ばしきったらどうなるでしょう。わゴムの伸縮を描いたゆかいな絵本です。



P/か

まほうのコップ

藤田千枝/原案 川島敏生/写真 長谷川摂子/文 福音館書店 2012 978-4-8340-2747-1



水の入ったコップをとおして見ると、イチゴがつぶれて見えたり、シメジがガマガエルに見えたりします。屈折して違う形に見える現象を、楽しく写真で見せてくれます。



423/か

よわいかみ つよいかたち

かこさとし/著・絵 童心社 1988 978-4-494-00958-9

1枚の弱い紙でも形を変えると重いもののせられるようになります。子どもが身近にあるもので実験できる内容で、実際にその形がどのように利用されているのかまでわかりやすく描かれた科学の入門書です。



P/タ

ウラパン・オコサ かずあそび

谷川晃一/作 童心社 1999 978-4-494-00885-8



1はウラパン、2はオコサと数え、1と2だけで数えることができます。サルが1匹、ウラパン。バナナが二本でオコサ。シマウマが三匹だとオコサ・ウラパン。世界にはいろいろな数え方が分かります。はっきりとした絵とリズムのある言葉で幼児から楽しめます。

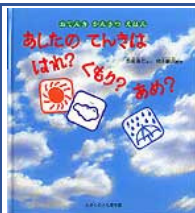


P/デミ

1つぶのおこめ さんすうのむかしばなし

デミ/作 さくまゆみこ/訳 光村教育図書 2009 978-4-89572-686-3

宮殿に向かうゾウのかごからこぼれた米を届けた褒美に、1粒のお米をもらうことになった村娘ラーニは、30日の間、前の日の倍の数をもろうことにします。始めは1粒の米も倍、倍になるととても大きな数になるというインドの昔話。鮮やかな色彩で描かれています。



451/

あしたの天気は はれ？くもり？あめ？

野坂勇作/さく 根本順吉/監修 福音館書店 1997 978-4-8340-1460-0

雲や空の様子を観察すると明日の天気予報ができることを知っていますか。科学的に気温や気圧を測らなくても、長い間の自然観察の中で人々が伝えてきたもう一つの天気予報。知っている空を見上げたり山を観察したりするのが楽しくなります。



P/ボ

しずくのぼうけん

マリア・テルリコフスカ/作 ボフダン・ブテンコ/絵 うちだりさこ/訳 堀内誠一/レタリング 福音館書店 1969 978-4-8340-0208-9

水のしずくが蒸発して再び雨となり、凍ります。水の変化の様子をしずくの冒険とおして伝えています。しずくといっしょに悲しくなったり、うれしくなったりして冒険を楽しみながら、水の不思議を知ることができます。



454/

あるくやま うごくやま

かこさとし/著 宮下森/絵 童心社 1988 978-4-494-00954-1

変わらないもの、動かないものと思っている山が、雨や風、地震や噴火などで形を変えていきます。長い年月をかけて変化していく自然の仕組みが、子どもにも分かりやすい絵と言葉で表現されている科学絵本です。



P/加

かわ

加古里子/さく・え 福音館書店 1966 978-4-8340-0067-2

山に降った雪や雨、わき水などが集まり川となります。上流から下流へと様々な地形を作り、人々の生活とかかわりながら海へと流れていきます。



I50/

地球 その中をさぐる

加古里子/ぶん・え 福音館書店 1975 978-4-8340-0445-8

地球で暮らす私たち。その地球の中を地表から奥深くまで少しずつ探っていきます。木の根や地下に住む虫たちの世界、建物の地下、地下道や地下鉄。そして何千年もの間に積もった地層、火山のマグマのもとや地球の核まで、地球の歴史を知る手がかりになっています。シリーズ『海』『宇宙』『人間』

かぜは どこへいくの



P/ハ

かぜは どこへいくの

シャーロット・ソロトウ/さく ハワード・ノッツ/え まつおかきょうこ/やく 偕成社 1981 978-4-03-327120-0

一日の終わりに男の子がお母さんに自然の営みについての疑問をなげかけます。昼間のおしめいは夜の始まり、山のてっぺんは谷の始まりなど、子どもの素朴な疑問に丁寧に答えていきます。モノクロの絵が静かで豊かなひとときを引き立てています。



451/ハ

おかしなゆき ふしぎなこおり

片平孝/写真・文 ポプラ社 2012 978-4-591-13124-4

冬の夜、降り積もった雪は様々な形を見せます。町の中では、石の上に大福のような雪、ポストの上に帽子のような雪が見られます。野山では、動物達の足跡や雪玉の転がった跡、凍った滝など、自然の造形美を撮った写真絵本です。



451/ホ

しもばしら

細島雅代/写真 伊地知英信/文 岩崎書店 2014 978-4-265-04369-9

寒い冬の日、地面にできた霜柱の秘密にせまります。霜柱は水が凍ったものですが日当たり、土の中の水の量、土の性質など、条件によりでき方が違います。身近な自然の不思議を読み解く写真絵本です。

たんぽぽ

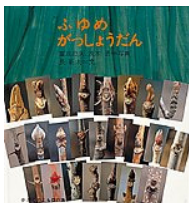


479/ト

たんぽぽ

平山和子/ぶん・え 北村四郎/監修 福音館書店 1976 978-4-8340-0470-0

家の周りや道端に咲く植物たんぽぽの観察絵本です。地下に長く伸びた根、一本の花には小さな花の実がたくさん集まっていること、熟した実が綿毛となって風に乗り遠くへ運ばれる様子などが丁寧に描かれています。



471/フ

ふゆめがっしょうだん

富成忠夫・茂木透/写真 長新太/文 福音館書店 1990 978-4-8340-10206

木の芽をズームアップして並べた写真絵本です。木の芽をじっくり見ていると人や動物の顔に見えてきます。普段は何気なく見過ごしている自然の中に楽しい出会いがあります。自然観察の導入となる絵本です。





625/7

みかんのひみつ

岩間史朗/写真 鈴木伸一/監修 ひさかたチャイルド 2007 978-4-89325-068-1

食べるみかん、成長するみかん、たくさん種類のみかん、みかんの秘密がつまっています。みかんの袋にもすじにも大切な秘密があります。観察して楽しく、食べておいしいみかんの絵本です。



P/74

木

佐藤忠良/画 木島始/文 福音館書店 2005 978-4-8340-2111-0

大きな木の根、空へと伸びる枝、木のこぶ、木の芽から若葉へ、命の木が描かれています。彫刻家による木のデッサンと詩人による木の讃歌が、力強い絵本になりました。



P/77

たねいっぱい わらったね

近藤薫美子/著 アリス館 1999 978-4-7520-0137-9

野山にはじけるたくさんたね。植物が次の命につなぐために遠くにはじけ、風に乗り、虫や鳥に食べられ運ばれて、次の春に芽を出す様子が、楽しい絵とリズムカルな文で表現されています。



626/7

やさいはいきている そだててみようやさいのきれはし

岩間史朗/写真 藤田智/監修 ひさかたチャイルド 2007 978-4-89325-063-6

料理の後の野菜の切れ端を水につけて観察すると、芽が出て葉がしげります。にんじん、キャベツ、だいこんなど台所にある切れ端を育てて観察してみる楽しさが伝わる写真絵本です。



470/7

雑草のくらし あき地の五年間

甲斐信枝/さく 福音館書店 1985 978-4-8340-0236-2

ある空き地を舞台に繰り上げられる雑草たちの攻防を5年にわたって観察し、緻密な絵で描いた科学絵本です。1年目には見られなかった植物が遠くから種を飛ばし、地下茎で侵入し、陽を浴びるために上へと伸びる様子がわかります。雑草の生命力、生き残る知恵を知ることができます。

やさいのおなか



P/幼

やさいのおなか

きうちかつ/さく・え 福音館書店 1997 978-4-8340-1438-9

野菜の切り口（おなか）の絵から野菜を当てる絵本です。身近な野菜をクイズ形式で当てて楽しめる幼児向けの科学絵本。シリーズ『やさいのせなか』『くだものなんだ』

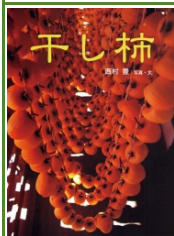


596/サ

ばばあちゃんのなぞなぞりょうりえほん むしばんのまき

さとうわきこ/作 佐々木志乃/協力 福音館書店 2004 978-4-8340-0587-5

ばばあちゃんの蒸しパン作り絵本は、なぞなぞや言葉遊びが入っていて、作って楽しく食べておいしいおやつ絵本です。簡単料理の作り方付きなので、親子でおやつタイムが楽しめます。



P/二

干し柿

西村豊/写真・文 あかね書房 2006 978-4-251-00950-0

渋柿をおいしく食べる知恵「干し柿の作り方」を実際の作業の写真で伝えています。干し柿づくりの農家でも、学校で作るときも、家庭で作るときも基本は同じ、皮をむいて日に干すことですが、均等に日が当たるように位置を変えたり、手でもんだり、人の手が入るごとにおいしくなります。



P/丸

あめが ふるとき ちょうちょうはどこへ

M・ゲアリック/文 レナード・ワイスガード/絵 岡部うた子/訳 金の星社 1974 978-4-323-00225-5

雨が降るとき動物たちはどうしているのでしょうか。巣に帰るものや木陰や藪に逃げ込むもの、雨にぬれても平気なものもあります。では、ちょうちょうはどうするのでしょうか。幼い疑問に答えではなく観察をいう方法で答える絵本です。



486/Dト

かぶとむし かぶとむしの一生 新版

得田之久/ぶん・え 福音館書店 2010 978-4-8340-2565-1

カブトムシが幼虫からさなぎになり、成虫として地上で生活し、子孫を残して一生を終るまでを描く科学絵本です。カブトムシを取り巻く他の虫たちや樹液をめぐる争いなど、自然界で生きる厳しさも描かれています。



P/マ

よるになると

松岡達英/さく 福音館書店 2015 978-4-8340-8172-5

昼の公園には、花の蜜をもとめて虫たちが集まります。夜の公園では、湿った枯れ葉をダンゴムシが食べています。昼の草原、夜の草原、昼の川、夜の川…。生き物たちが暮らす昼と夜の世界を、対比させて丁寧な描いた絵本です。



485/Df

ぼく、だんごむし

得田之久/ぶん たかはしきよし/え 福音館書店 2005 978-4-8340-2083-0

ダンゴムシの生態が幼児向けに分かりやすく描かれている観察絵本です。絵はシンプルで語りかけるような文章で、ダンゴムシがどこでどのように暮らしているのかや成長の過程などを知ることができます。



486/Df

いもむしのうんち

林長閑/監修 E.E. net/構成 アリス館 1995 978-4-7520-0033-4

アオスジアゲハの幼虫の成長を写真でつづる科学絵本です。うんちのかたち、うんちのにおい、大きさなど、1匹のいもむしの成長の過程を、うんちを中心に観察していきます。



487/Cf

へんしんおたまじゃくし

榎本功/写真撮影 福山欣司/監修 ひさかたチャイルド 2007 978-4-89325-064-3

春、田んぼに産みつけられた卵からおたまじゃくしが生まれました。18日目には後ろ足が、25日目には前足がはえ、カエルに成長していく様子を美しい写真と解説で伝えてくれます。アマガエルの成長を親子で楽しむことができます。



P/シ

じんべえざめ

新宮晋/著 文化出版局 2013 978-4-579-40456-8

巨大なじんべえざめが、ゆったりと泳ぎながらやって来て、去っていくまでが描かれています。海の中でじんべえざめに出会い、観察しているような臨場感が楽しめます。



488/B4

この羽だれの羽？

おたぐろまり/作・絵 偕成社 2013 978-4-03-437340-8

公園で見つけた鳥の羽を落としたのは誰か探していく中で、身近に暮らす鳥の生態がわかる絵本です。鳥の大きさや色、羽の生えている場所や役割によって羽の違いを見分け、どの鳥のどの部分の羽かを推理する、鳥の図鑑としても楽しめます。

たべたのはだれ？

藪内正幸/文



P/ヤマ

たべたのはだれ？

藪内正幸/さく 童心社 2004 978-4-494-00258-0

食べ遺したあとを見て、「たべたのはだれ？」を当てる絵本。くるみを食べたのはリス、かきを食べたのはむささび、ねずみを食べたのはふくろう。要点のみを描いていて幼児にも分かりやすく丁寧に描かれた絵本です。



P/ヤマ

しっぽのはたらき

川田健/ぶん 藪内正幸/え 今泉古典/監修 福音館書店 1972 978-4-8340-0315-4

子どもたちにおなじみの動物たちのしっぽの働きを描いています。急に向きを変えるときにしっぽで舵を切るキツネ、身を守るためにしっぽを切り離すトカゲなど、写実的な絵で描かれています。



P/イ

いる いる だあれ

岩合日出子/ぶん 岩合光昭/しゃしん 福音館書店 2007 978-4-8340-2303-9

自然の中に暮らす動物のシルエットを見て、「だあれ」とあてる絵本。雄大な大地に生きるサイ、カンガルー、ゾウなど動物たちの姿を、動物写真家が撮った美しい写真の絵本です。



P/ヤマ

のうさぎ にげる

伊藤政顕/ぶん 滝波明生/え 新日本出版社 1979 978-4-406-00587-6

野山に住むノウサギには、イタチやイヌワシなど命を狙う天敵がたくさんいます。子ウサギは草むらで息をひそめてイタチをやり過ごします。イヌワシからはばねのある足で逃げ、岩の割れ目に逃げ込みます。生きのびるための能力を身につけたノウサギの姿を正確な描写で描いています。シリーズ『新日本動物植物えほん』



489/A林

クマよ

星野道夫/文・写真 福音館書店 1999 978-4-8340-1638-3

遠く離れた土地に暮らしていても、自然界の生きものたちと私たちは同じ時間を過ごしています。著者はクマの気配を感じながら生活し、圧倒的な自然の中でクマに遭遇します。著者はアラスカの自然と野生生物をテーマとした写真家です。



みんなうち



P/ゴタ

みんなうち

五味太郎/さく 福音館書店 1981 978-4-8340-0848-7

おとなも子どもも、ぞう、ねずみ、さかな、とりなど動物たちも、みんなうちをします。それぞれのうちの様子で、生き物は食べるからうちをすること、楽しい絵とリズムカルな言葉で描かれています。



491/林

ちのはなし

堀内誠一/ぶんとえ 福音館書店 1978 978-4-8340-0729-9

転んですりむいた膝から出た血、その血の動きや仕組みを幼児向けにわかりやすく描いています。懐中電灯で手を透かしてみたり、巻紙の芯で心臓の音を聞いてみたり、子どもでもできる実験をしながら体の不思議に触れることができます。



P/竹

かさぶたくん

やぎゅうげんいちろう/さく 福音館書店 2000 978-4-8340-1640-6

ころんでできた傷は子どもの勲章！ひげ小僧のかさぶた「とりたいな」。でもかさぶたには大切な役目があるのです。その仕組みを分かりやすく解説し、やさしく楽しく体の不思議に迫ります。



387/林

はがぬけたらどうするの？ せかいのこどもたちのはなし

セルビー・ピーラー/文 ブライアン・カラス/絵 こだまともこ/訳 フレーベル館 1999 978-4-577-01987-0

乳歯が抜けたとき、抜けた歯をどうするのか、世界64の地域の風習や言い伝えを紹介しています。妖精がお金と交換してくれる国、新しい歯が丈夫になるようにと土に埋める地域など、世界中にいろいろな風習があることがわかります。



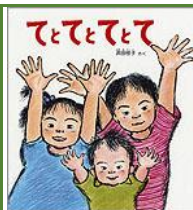


369/ツ

もうどうけんドリーナ

土田ヒロミ/さく 日紫喜均三/監修 福音館書店 1986 978-4-8340-0673-5

盲導犬訓練所で生れた子犬は、1年間たくさん遊び、愛情たっぷりに育つと訓練が始まります。大きな音を怖がらない、小さな段差でも必ず止まるなど様々な訓練を受け、盲導犬として家族の一員となります。盲導犬ドリーナの成長と訓練、活躍を伝える写真絵本です。



P/ハ

てとてとてとて

浜田桂子/さく 福音館書店 2008 978-4-8340-2327-5

手は働き者。食べる、書く、作る、ぶら下がる、楽器になる、道具になる、遊ぶ、さする、伝える、確かめる、仕事をするときも気持ちを伝えるときもつかう「て」の絵本です。子どもたちの豊かな表情や遊びの様子が描かれています。



386/テ

サンタクロースってほんとにいるの？

てるおかいつこ/文 すぎうらはんも/絵 福音館書店 1982 978-4-8340-0903-3

「サンタクロースって本当にいるの?」という素朴で重大な子どもの疑問に両親が答えます。クリスマスの朝を待つ子どもたちと、昔子どもだった大人にも伝えていきたい絵本です。



361/ツ

わたし

谷川俊太郎/ぶん 長新太/え 福音館書店 1981 978-4-8340-0847-0

「わたし」は男の子から見ると「おんなのこ」、おにいちゃんから見ると「いもうと」、さっちゃんから見ると「おともだち」、宇宙人から見ると「ちきゅうじん」。さまざまな人から見た「わたし」から、人と人との関係がわかります。



289/ガ

星の使者 ガリレオ・ガリレイ

ピーター・シス/文絵 原田勝/訳 徳間書店 1997 978-4-19-860782-1

16世紀のイタリアに生れたガリレオ・ガリレイは、幼い頃から好奇心が強く、望遠鏡で星を観察し、新しい考え方を発表しました。しかし、地動説を唱えて宗教裁判にかけられます。科学者として信念を貫いた人生を、美しく精密な絵で表現した伝記絵本です。

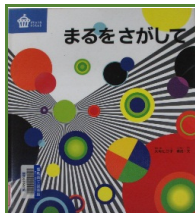


P/マル

まるいちきゅうのまるいちにち

エリック・カール/ほか絵 安野光雅/編 童話屋 1986 978-4-924684-34-8

世界8か国の8人の絵本作家と編者が、イギリスを基準とする元旦の一日をそれぞれに描いています。同じ時間に寝ている子、風揚げをする子、食事をしてい子など、1冊の中に8つのストーリーと、それをつなぐ無人島に漂着して助けを待つ男の子タスクの絵本です。



726/オ

まるをさがして

大月ヒロ子/構成・文 福音館書店 2004

世界の芸術家が描いたマルの絵を集めて一冊の本にしました。力強い赤いマル、カラフルなマル、よく見ると何かが浮き出てくるマル、たくさんのマルの絵を見ていると、**絵を描きたくなってきました。**



489/A3

ゾウの森とポテトチップス

横塚眞己人/しゃしんとぶん そうえん社 2012 978-4-88264-330-2

さまざまな生き物たちが暮らす大自然の宝庫・ボルネオ島の熱帯雨林が、ポテトチップスや洗剤などに使われるパーム油の原料のアブラヤシを植えるため開発されています。そのため、ゾウたちの暮らしが脅かされている現実を鮮やかな写真で伝えます。



P/ヤ

風の島へようこそ くりかえしつかえるエネルギー

アラン・ドラモンド/さく まつむらゆりこ/やく 福音館書店 2012 978-4-8340-2706-8

デンマークのサムス島は一年中海風が吹く島です。石油や石炭などに頼らず繰り返し使える自然エネルギーで自分達の使うエネルギーを生み出すため、風力発電を取り入れます。サムス島が島民の力で風力発電の島になるまでを描く絵本です。



P/ス

はしれディーゼルきかんしゃデーデ

すとうあさえ/文 鈴木まもる/絵 童心社 2013 978-4-494-02561-9

東日本大震災後、電気が止まり、燃料不足が深刻になっていた時に、新潟から福島県の郡山市へ、燃料を乗せたディーゼル機関車が走りました。この**実話をもとに描かれたのがこのデーデのお話です。**

中学年以上でも楽しめる 科学や知識の絵本

エンザロ村のかまど	333/ウ
さくまゆみこ/文 沢田としき/絵 福音館書店 2009	
ひとしずくの水	435/ウ
ウォルター・ウィック/写真と文 林田康一/訳 あすなろ書房 1998	
木の実とともにだち みつける・たべる・つくる	471/シ
下田智美/絵と文 松岡達英/構成 偕成社 1996	
絵とき ゾウの時間とネズミの時間	481/AE
本川達雄/文 あべ弘士/絵 福音館書店 1994	
糸あそび布あそび	594/オ
田村寿美恵/文 平野恵理子/絵 福音館書店 2003	
絵くんとことばくん	727/ア
天野祐吉/作 大槻あかね/絵 福音館書店 2006	
せかいのひとびと	P/スレ°
ピーター・スピア/文・絵 松川真弓/訳 評論社 1982	
トキよ おおぞらへ	P/スア
国松俊英/文 鈴木まもる/絵 金の星社 2000	
せいめいのれきし 改訂版	P/ハバ
バージニア・リー・パートン/文・絵 いしいもちこ/訳 まなべまこと/監修 岩波書店 2015	
オコジョのすむ谷	P/マE
増田戾樹/写真・文 あかね書房 1981	

このリストにある本は購入可能です (2016年6月現在)

福島県は「福島県子ども読書活動推進計画（第三次）」に基づき、子どもたちの読書を支援する活動を実施しています。また、県内の公共図書館や関連施設と連携を取り、子どもたちが楽しい本、心に響く本、未来に夢を持つことのできる本に出会う機会を提供しています。

福島県立図書館では、子どもの読書活動を支援する活動として、直接来館した親子への図書の貸出や読書相談に加えて、市町村立図書館、公民館図書室、学校図書館やボランティアへ資料や情報を提供しています。

心を育て、未来への扉を開く素敵な本との出会いを

子どもたちへ！





福島県立図書館こどものへや「わくわく科学コーナー」



子どもの本がつなぐスマイルプロジェクト
親子ふれあい読書フェスティバル

絵本はともだち かがくやちしきの絵本

平成28(2016)年7月3日発行

編集発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

TEL 024-535-3218

FAX 024-536-4787

<https://www.library.fks.ed.jp>

